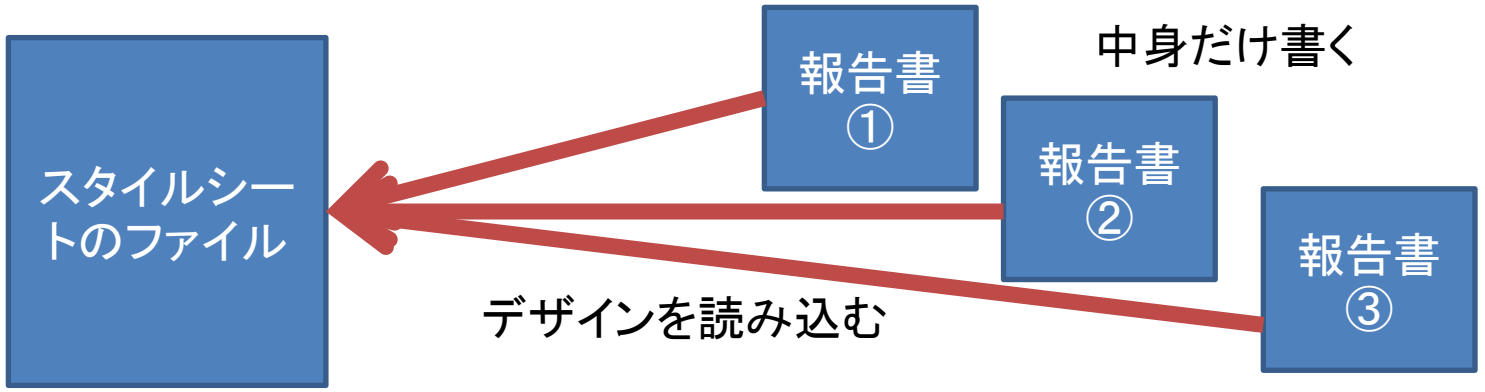
スタイルシートを使ったweb制作

スタイルシートって何？

- HTMLファイルから、構造やデザインに関する部分だけを取り出した、基本設計図
- コピペをしなくても、デザインを複数ページで使いまわせる
- 余計なタグがなくなるので、文章の差し替えが楽



スタイルシートの３種類

外部CSSデータで作成する

- 複数のHTMLファイルに共通のデザインをまとめる

HTMLのヘッダ部分に書き込む

- そのページだけに特有のデザインをまとめる

タグの中に書き込む

- 本文中の一部の文字だけに特有のデザインをまとめる

基本のスタイルシート

- 作るファイルは2つ
  - HTMLデータ（本文などの情報をまとめたファイル）
  - 外部CSSデータ（デザインの情報をまとめたファイル）

外部CSSデータを作ろう

```
h1 {color:blue; font-size:1.25em;}
p {color:green; font-size:0.8em;}
```

個だけをメモ帳に書いて、

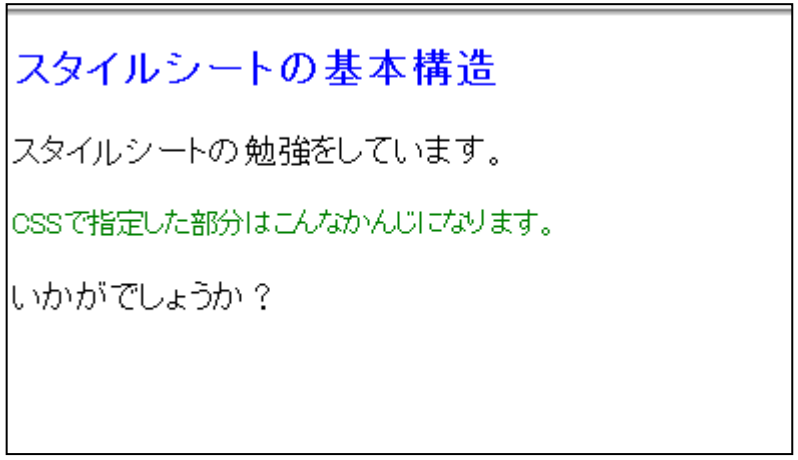
design.css

というファイル名で保存

外部CSSを読み込むHTMLデータを作ろう

- プリントのgaibu.htmlのファイルを作ろう

～～ はパラグラフタグ。段落の前後に間を開けてくれるタグ。

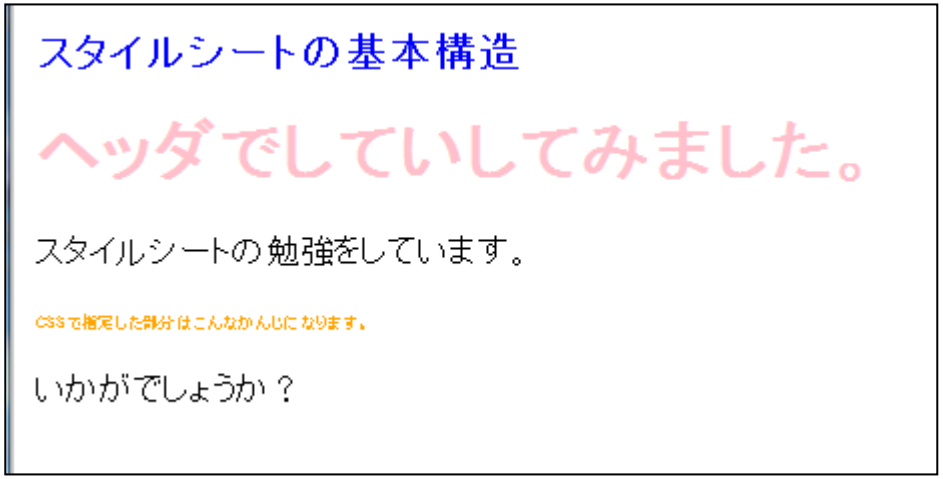


←のようなページが出てくればOK!
HTMLのほうでは色の指定をしていないのに、ついている！！！

That's stylesheet!!

ヘッダにスタイルシートを追加する

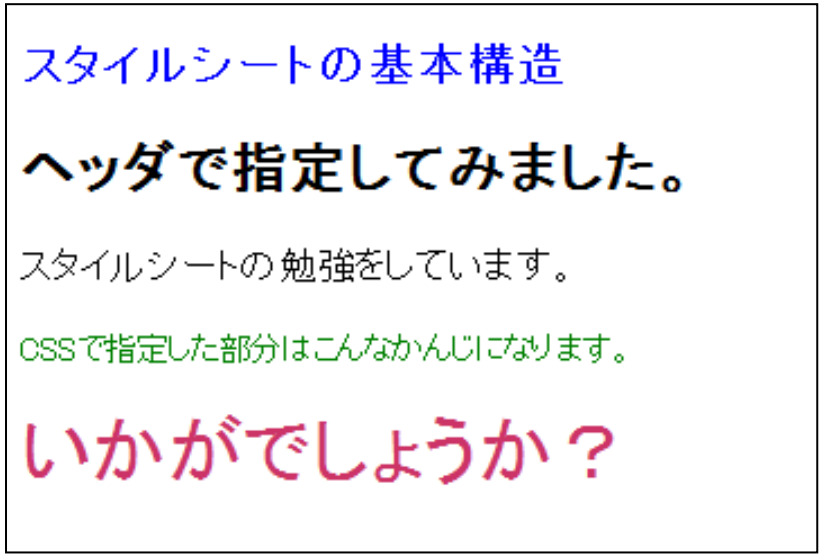
- プリントのhead.htmlを作ろう



- ヘッダに指定すると、外部CSSで定義されているものよりも優先される！

特定の文字だけスタイルシートを変える

- プリントのnaibu.htmlを作ろう



- 5行目のpタグは外部から読み込んだものですが、6行目のpタグはそこで指定されたものが優先されています。

スタイルシートを利用するときのまとめ

- スタイルシートを使うときには、HEADの部分で宣言してつかう！

外部を使うとき

ヘッダを使うとき

特定部分に使うとき

```
<head>
<title>スタイルシートの基本</title>
<link rel="stylesheet" href="design.css" type="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h2 {color:pink;font-size:2em;}
p {color:orange;font-size:0.5em;}
-->
</style>
<meta http-equiv="content-style-type"content="text/css">
</head>
```

- 優先順位は外部＜ヘッダ＜特定

複数のスタイルを使い分ける

- ヘッダや外部でスタイルシートを指定するときに、「class」を導入すると複数のスタイルを指定できます

例＜pタグにform1とform2を設定する＞

①外部またはヘッダ部分の指定の場所に

```
p.font { font-size:1.3em; }
p.font1 { font-size:1.5em; color:red; }
```

と記入する

②本文中の変化をさせたい場所に

```
<p class="font">フォントの大きさ1.3emです。</p>
<p class="font1">フォントの大きさ1.5emで色は赤です。</p>
```

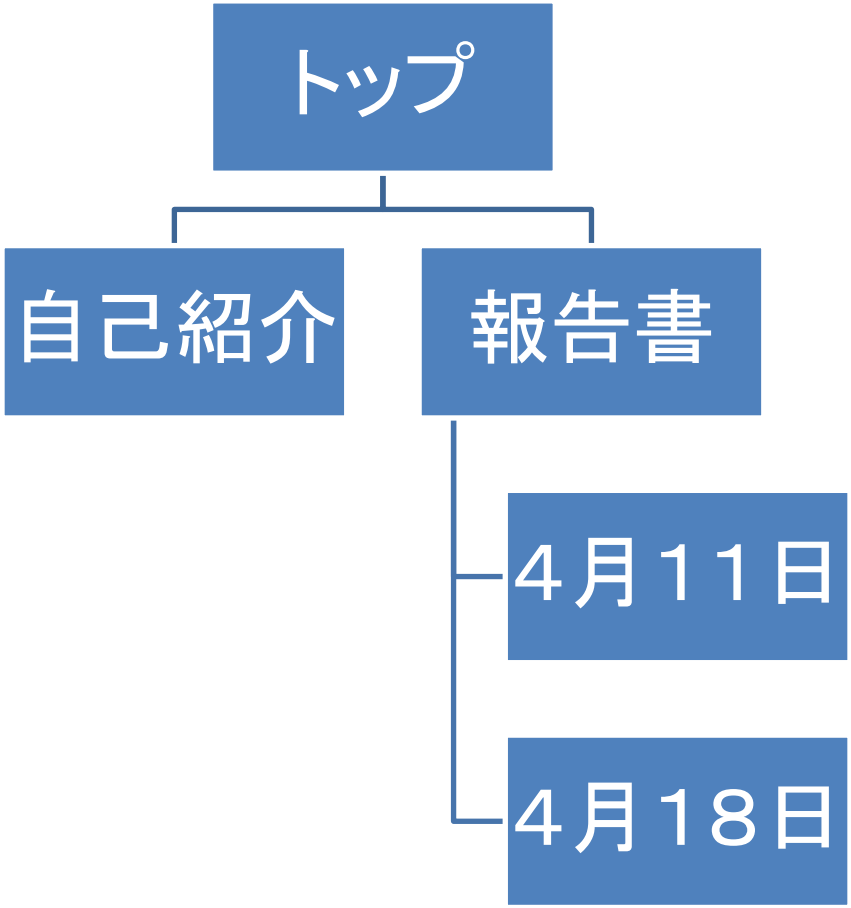
のように記入する

とりあえず、ここまでできれば、基本の基本は抑えられました。

とにかく、スタイルシートを使えば本文中で色を指定したりしなくてよくなります。

高度なテクニックは、自分で調べてみよう☆

今日の課題



左のような構成を持ったウェブサイトを作ってみよう！枠組みだけでもよいよ！

＜作るHTMLデータ＞

[トップ] index.html

[自己紹介]prof.html

[報告書]houkoku.html

[４月１８日]0418.html